【欠席日数調査表】

「魅力ある学校づくり」～新規不登校未然防止のために～

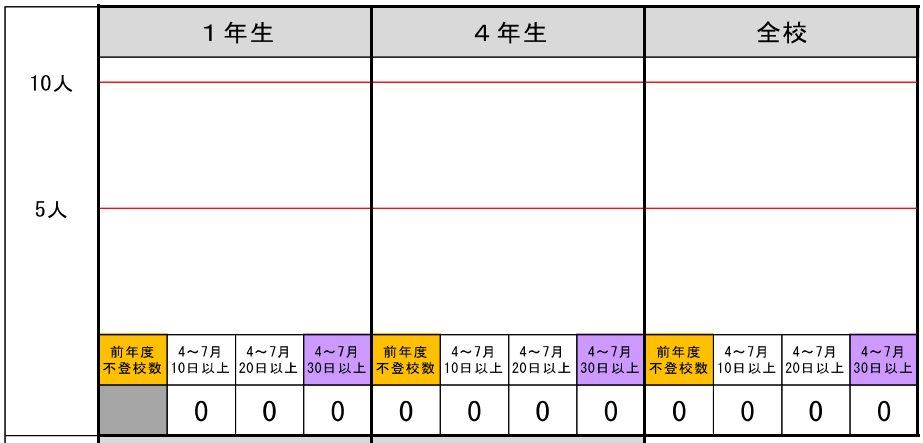
新規不登校未然防止のために学校が取り組むことは、全ての児童生徒が学校に来ることを楽しいと感じ、学校を休みたいと思わせないような、日々の学校生活の充実です。そのためには、どの児童生徒も落ち着ける居場所づくり、全ての児童生徒が活躍できるような絆づくりのための場づくりが鍵となります。（国立教育政策研究所「生徒指導リーフLeaf.14 不登校の予防」より）。

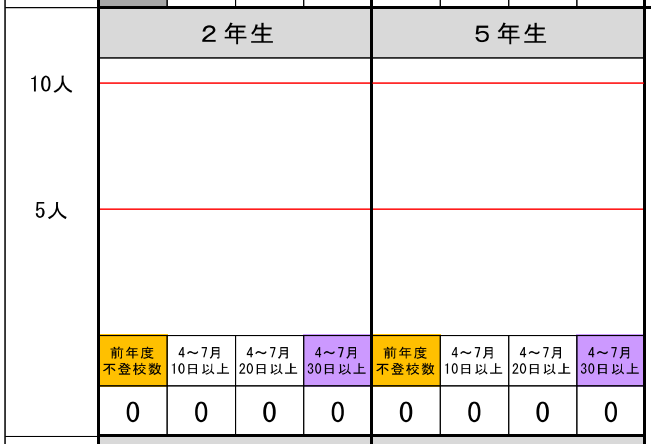
そのために、下のグラフを活用し、新規不登校抑制のための取組を学校または学年にて実践した上で、下のグラフ結果や、「学校が楽しい」、「みんなで何かをするのは楽しい」、「みんなで主体的に取り組んでいる」、「授業がよく分かる」といった4つの視点を盛り込んだアンケート調査（いじめアンケート等の項目に入れて実施するのが好ましい）結果から、学校又は学年における取組を振り返り、改善した上で次の取組を実践していくことにつなぐといった、PDCAサイクルが、新規不登校数の抑制やいじめの未然防止につながります。

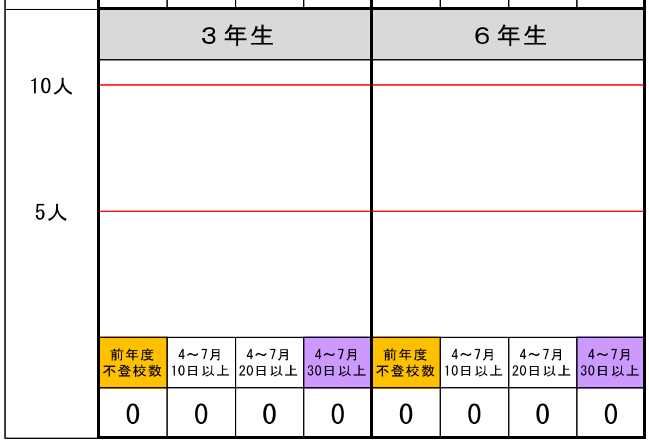
詳細は、下記URLに掲載されている資料等を参照ください。

■岐阜県教育委員会学校安全課HP
https://www.pref.gifu.lg.jp/kensei/ken-gaiyo/soshiki-annai/kyoiku-iinkai/gakko-anzen/miryokuarugakkoudukurijigyou.htm
■国立教育政策研究所「生徒指導リーフ　Leaf.22 不登校数を「継続数」と「新規数」とで考える　平成30年7月」
http://www.nier.go.jp/shido/leaf/index.html

学校名	００







■…前年度不登校児童生徒数

■…前年度不登校児童生徒数

■…継続長期欠席（不登校）児童生徒数

□…新規長期欠席（不登校）児童生徒数

【魅力ある学校づくりの実施手順】

【手順１】
・左のグラフから自校（学年）における傾向を把握する。
※（別添）「欠席日数調査票」活用ガイドを参照。

【手順２】
・左のグラフから傾向を傾向を把握したら、自校（学年）におけるこれまでの取組を振り返り、成果と課題を明確にする。

【手順３】（必須ではないが効果あり）
・自校（学年）の全児童生徒に対する意識調査を実施し、結果より、自校（学年）の取組の浸透度を把握する。
※この調査は、自校（学年）の取組と児童生徒との意識のズを把握するために実施するものであるため、必須ではない。
※「学校が楽しい」，「みんなで何かをするのは楽しい」，「みんなで主体的に取り組んでいる」，「授業がよく分かる」といった4つの視点を盛り込んだアンケート調査は、いじめアンケート等の項目に入れて実施することが好ましい。

【手順４】
・手順２と手順３の結果を踏まえ、自校（学年）における今後の取組を明らかにしていく。
※ＰＤＣＡサイクル×３にて、取組改善を図る。
※自校や学年で協議する際に、備忘録の例を参考に記録をし、保存しておく。